

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 32-005

PDCA	事務事業名	本会議運営事業	部課等名	市議会事務局 議事課 議事担当	担当	小池	
					内線等	542	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第6章 自立した地域経営のまち					
		節：第1節 行財政運営とサービスの向上					
		基本施策：1. 行政運営					
		単位施策：					
	根拠法令等	地方自治法第6章、半田市議会議本条例					
	対象・目的	関係法令や規則等に基づき、本会議が遺漏なく的確に遂行され、かつ会議結果が確実に記録されるようにする。					
	目的を達成するための手段・活動内容	本会議業務（会議録の作成、音響、録音、記録、会議進行他）の実施 傍聴規則に基づく受付業務と適切な接遇 本会議運営に係る議会運営及び会議次第の作成 当局への連絡調整					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①本会議会議録作成部数		22	22	22	部
		②本会議開催のべ時間		59	45	59	時間
		③					
		事業費		1,382	1,296	1,467	千円
		人件費		8,259	8,249	8,432	千円
		総事業費		9,641	9,545	9,899	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
	①本会議1時間当たりのコスト		163,407	212,111	167,780	円	
	②						
	③						
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		本会議が滞りなく円滑な議会運営を果すことができた。	実績値				
			目標値				
実績値							
目標値							
実績値							
目標値							
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 法定事務	④上位施策への貢献	—	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	—	⑤成果向上の余地	ある	※対象・手段の変更	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない	
	事業の評価・課題	A					
		市民に開かれた、身近な議会にするために、傍聴規則の傍聴の手続きや傍聴に入ることができない者などの見直しを行い、広く市民が傍聴できる体制を整えた。傍聴者への対応を充実させ、傍聴時の注意事項と駐車券無料の案内配付を徹底すると同時に、傍聴席にも必ず事務局職員が入り、本会議中の不測の事態に備えた。（平成30年度の本会議傍聴人数は179人）					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			開かれた議会を推進するため、傍聴者が増えるような取り組みを検討・実施していく。今後も職員の研修や、他自治体との情報交換、課題研究に努め、議会が柔軟で活発な議論が行える場となるよう、事務局として支援を行う。				
		令和元年度の目標	成果指標			目標値	単位
			円滑な本会議の運営が目標であり、成果指標の設定が困難であるため、文章にて成果を表記する。				